



## 私立高等学校魅力アップ推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総務部	課名	大学・私学振興課	課長名	前川 嘉宏	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [ 元気な社会 ]			事業 区 分	■ 国庫	□ 実行予算	事業 開始 年度	H16 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度	— 年度
関連する県の計画等		政策 [ 福井から人材育成 ]			■ 県単		■ 補助金	□ その他				
[事業目的]												
<p>少子化による長期的な生徒減少が学校経営に影響を与え、教育条件の悪化や保護者の経済的負担が懸念されていることから、私立高等学校が生徒や保護者にとってより魅力ある学校となるよう、意欲的な取組みなど特色ある学校づくりの支援を強化する。</p>												
[事業内容]												
<p>私立高等学校の取組み等に対して補助する。</p> <p>(1) 教育改革推進加算 食育、キャリア教育の推進など社会情勢に対応した教育改革の積極的な推進を図る。</p> <p>(2) 学校ブランド推進加算 学校評価による学校改革、安全・安心対策など信頼される教育活動の推進を図る。</p> <p>(3) 学力向上・スポーツ・文化振興加算 学力、スポーツ、芸術分野での活動に対する経費支援や目標に対する成果配分を増額し、更なる実績向上を図る。</p>												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		325,000	325,000	335,000	357,000	357,000	357,000	357,000	H27.6月補正～難関大学合格、資格取得支援の拡充およびスポーツ等の全国大会での活躍に応じた支援を拡充			
2月現計予算額の推移		325,000	325,000	335,000	348,000							
決算額の推移		325,000	325,000	335,000								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	私立学校入学者数	(目標) (2,080)	(2,080)	(2,055)	(2,055)	(2,055)	(2,055)	(2,055)	私立高校入学定員			
		実績 2,065	2,194	2,100	2,104							
成果指標	定員充足率(%)	(目標) (100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(私立高校入学者/私立高校入学定員) × 100			
		実績 99.3	105.5	102.2	102.3							
活動指標	補助対象学校数	(目標) (6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	(6)	補助対象県内私立高校数			
		実績 6	6	6	6							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	私立高等学校の設置者					
予算額	357,000	10,800			346,200	事業実施方法	補助					
						補助率	定額					

# 事業評価

事業名	私立高等学校魅力アップ推進事業	部局名	総務部	課名	大学・私学振興課	課長名	前川 嘉宏
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>私立高等学校の生徒の1人当たりの経常費補助額を比較すると、定員充足率の高い本県は北陸3県では最も低い水準となっている。このため、国の支援制度に加え、本県独自に助成を嵩上げしている就学支援金や、校舎などの耐震化を進める施設整備費補助と併せて、私学の特色ある教育活動を総合的に支援していく必要がある。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県内私立高等学校に在籍する生徒				6校（生徒数6,000人）			
他県の状況	<p>&lt;平成27年度現計予算ベース&gt;                  生徒一人当たり経常費補助額                  【福井県】 317,271円（全国41位）                  【石川県】 357,124円（全国5位）                  【富山県】 349,865円（全国8位）</p> <p>出所：H27.7.29中高連調査に福井県分は補正計上分を加え算出</p>			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）		
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 私立高等学校教育振興補助金 （役割分担）  この事業は、私立高等学校の特色ある教育を支援するため、私立高等学校への経常費補助である私立高等学校教育振興補助金に加算して補助する制度である。			市町との連携状況	—		
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
・入学定員充足率は100%を超え、生徒や保護者にとって魅力ある学校となる取組を支援する目的を果たしている。 ・また、敦賀気比高校が第87回選抜高等学校野球大会で優勝を果たすなど、県内私立高校のスポーツ振興に重要な役割を果たしている。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 私立高等学校等就学支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総務部	課名	大学・私学振興課	課長名	前川 嘉宏	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	■ 政推枠 ビジョン		元気な社会			事業 区分	■ 国庫	□ 実行予算	事業 開始 年度	H22 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度	— 年度
関連する県の計画等	政策		福井から人材育成				■ 県単	■ 補助金				
[事業目的]												
<p>国の就学支援金制度を活用し、平成22年度から、私立学校の授業料減免に県独自に上乗せ補助を実施しているが、福井の教育・子育て環境のさらなる充実・改善のため、学校施設の修繕や改修、備品の更新、冷暖房費に対する保護者負担を世帯年収に応じ軽減する。</p>												
[事業内容]												
<p>(1) 世帯年収に応じ就学支援金を支給（国制度）。（26年度から対象が世帯年収910万円未満に改正）  (2) 国の就学支援金に加え、中低所得世帯の授業料等の減免に上乗せ補助（県制度）  世帯年収590万円未満の世帯（私立高校全体の約5割、約3,000世帯）への施設設備費等としての支援の対象に、  学校施設の修繕や改修、備品の更新、冷暖房費を追加し減免額を強化・拡充する。  （現在）特別授業料、実習費のみ補助対象 → （改正案）施設設備費、冷暖房費を補助対象に加える  (3) 就学支援金支給事務費の交付</p>												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">（単位：千円）</span>												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		976,972	976,221	968,971	1,115,864	1,172,234	1,172,234	1,172,234	平成28年度当初予算から、県の独自減免対象範囲を拡大			
2月現計予算額の推移		975,115	998,836	1,053,385	1,074,037							
決算額の推移		971,735	996,842	1,052,190								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	就学支援金支給対象生徒数	(目標)							世帯年収910万円未満の世帯の数 各年度の支給対象生徒数は所得に応じて変動するため、目標の設定は困難			
		実績	5,797	5,966	5,724							
成果指標	減免補助対象生徒数	(目標)							世帯年収590万円未満の世帯の数 各年度の補助対象生徒数は所得に応じて変動するため、目標の設定は困難			
		実績	2,773	2,663	3,136							
活動指標	対象校数	(目標)	(9)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	県内私立高校数および高等課程を有する私立専修学校数			
		実績	9	10	10	10						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	私立高等学校の設置者					
予算額	1,172,234	908,631			263,603	事業実施方法	補助					
						補助率	定額					

# 事業評価

事業名	私立高等学校等就学支援事業	部局名	総務部	課名	大学・私学振興課	課長名	前川 嘉宏										
[事業の必要性・要求の背景]																	
<p>本県の私立高等学校6校の授業料などの保護者負担額は、全国で最も低い水準にあるものの、負担額を世帯年収別に比較すると、中低所得世帯の負担額はこれまで全国中位の状況にあった。このため、県独自の支援策をさらに強めることにより、本県の教育・子育て環境のさらなる充実を図ることが重要である。</p>																	
[受益者]				[想定される受益者数]													
私立高等学校等に通学する生徒および保護者（一定の所得要件に該当する者）				約6,000世帯													
他県の状況	<p>&lt;平成27年度当初予算ベース&gt; 私立高等学校の授業料等軽減後の実負担（世帯年収別）の全国順位</p> <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>～250万円</td> <td>～350万円</td> <td>～590万円</td> <td>～910万円</td> <td>910万円～</td> </tr> <tr> <td>福井 11位</td> <td>5位</td> <td>2位</td> <td>1位</td> <td>1位</td> </tr> </table> <p>出所：福井県調べ</p>			～250万円	～350万円	～590万円	～910万円	910万円～	福井 11位	5位	2位	1位	1位	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）		
～250万円	～350万円	～590万円	～910万円	910万円～													
福井 11位	5位	2位	1位	1位													
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）			市町との連携状況	—												
[事業の評価]																	
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価												
<p>&lt;26年度実績&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の就学支援金支給制度の対象者は、5,724人となった。</li> <li>・県の減免制度の対象者は、3,136人となった。</li> <li>・中低所得世帯においては、県の独自減免を実施してもなお、施設設備費等が大きな負担となっている。</li> </ul>		<p>県の減免補助の対象を拡充                  （現在）特別授業料、実習費のみ補助対象                  ↓                  （改正）施設設備費、冷暖房費を補助対象に加える</p>			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額									
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了										
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他										

## 私立高等学校等奨学給付金支給事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総務部	課名	大学・私学振興課	課長名	前川 嘉宏	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [ 元気な社会 ]			事業 区分	■ 国庫	□ 実行予算	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度	— 年度
		政策 [ 福井から人材育成 ]			□ 県単		□ 補助金					
関連する県の計画等		[ ]			□ その他		■ その他					
[事業目的]												
私立高等学校等に通う低所得世帯の生徒の学用品や教材購入などの教育費負担を軽減し、教育の機会均等を目指す。												
[事業内容]												
○奨学給付金の支給 H26.4以降入学者で年収250万円未満程度の世帯に対し、奨学給付金を支給 ・生活保護受給世帯 52,600円/年・人 ・第1子の高校生等がいる世帯 67,200円/年・人（通信制は38,100円） ・23歳未満の被扶養者がある世帯で第2子以降の高校生等がいる世帯 138,000円/年・人（通信制は38,100円）												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移				16,704	40,412	65,807	65,807	65,807	26年度から学年進行で予算計上 (H26：1年生、H27：1、2年生、H28：1、2、3年生)			
2月現計予算額の推移				20,555	36,187							
決算額の推移				19,865								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								奨学給付金の支給そのものが教育費負担の軽減という成果につながるが、数値で推し量られるものではないため、目標の設定は困難である。			
活動指標	奨学給付金支給生徒数 (目標) 実績			270	499							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	65,807	21,935			43,872	事業実施方法	県内私立高校を通じて支給					
						補助率						

## 事業評価

事業名	私立高等学校等奨学給付金支給事業	部局名	総務部	課名	大学・私学振興課	課長名	前川 嘉宏	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>国の制度を活用し、私立高等学校等に在籍する低所得世帯における、授業料以外にかかる学用品や教材費等の経費負担を軽減することができるよう奨学給付金を支給し、安心して学べる環境を整備することは重要である。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
私立高等学校等に通学する生徒および保護者（世帯年収250万円未満）				約750人				
他県の状況	全国一律国の基準に応じて実施			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有      事業名    私立高等学校等就学支援事業 (役割分担)  当該事業は低所得世帯に対し、授業料等以外にかかる学用品費や修学旅行費等の経費に対し奨学給付金を支給するものであり、授業料等の減免を目指す私立高等学校等就学支援事業とは異なる。			市町との連携状況	—			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
<26年度実績> ・270人に対して支給 <27年度実績（平成28年2月末時点）> ・499人に対して支給					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 私立高等学校人材育成支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総務部	課名	大学・私学振興課	課長名	前川 嘉宏	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [ 元気な社会 ]			事業 区 分	■ 国庫	□ 実行予算	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	— 年度
関連する県の計画等			政策 [ 福井から人材育成 ]				□ 県単	■ 補助金				
[事業目的]												
少子化や人口流出が進む中、若者の県外流出を抑制する観点から、卒業後も地元福井にとどまり「ふるさと福井」に貢献する人材の育成力を強化する。												
[事業内容]												
私立高等学校の取組み等の実績に応じて補助する。												
(1) 地元企業就職加算 インターンシップ等の実施により県内企業への就職の促進を図るとともに、特に県外出身者の県内就職を支援する。												
(2) 地元大学等進学加算 県内大学、短大、専門学校等への進学の促進を図るとともに、特に県外出身者の県内進学を支援する。												
(3) 県外生徒受入活動支援加算 県外出身者の県内定着の促進を図るとともに、県外出身者の入学を支援する。												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由				
当初予算額の推移				40,000	50,000	50,000	50,000					
2月現計予算額の推移				40,000								
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	県外出身生徒の県内進学・就職率 (%)	(目標)		(10.0)	(10.0)	(10.0)	(10.0)	県内進学・就職者数(県外出身生徒) / 県外出身生徒数				
成果指標	県外からの受入生徒数	(目標)			(200)	(200)	(200)	入学時における県外出身生徒数				
活動指標	補助対象学校数	(目標)		(6)	(6)	(6)	(6)	補助対象県内私立高校数				
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	私立高等学校の設置者					
予算額	50,000	50,000				事業実施方法	補助					
						補助率	定額					

# 事業評価

事業名	私立高等学校人材育成支援事業	部局名	総務部	課名	大学・私学振興課	課長名	前川 嘉宏	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>若年層の進学等に伴う人口流出の抑制を図るため、高校卒業後、県内の大学への進学や、県内において就職する流れを強めることは重要である。そのためには、生徒が高校在学中に、本県の魅力や特色を学ぶ授業や、ふるさとに愛着を持つ教育活動を促進していく必要がある。</p> <p>このことは、県外からの生徒獲得についても同様であり、県内私立高校が行う生徒の地元定着の推進活動に支援を強め、本県の人口減少抑制を図る。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
私立高等学校に通学する生徒				約6,000人				
他県の状況	地元進学や地元就職に対する支援および県外からの生徒受入活動に対する支援を行っている都道府県は、本県以外に例がない。			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (役割分担)			市町との連携状況	—			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
・県外出身生徒の獲得に対する支援を9月補正予算で追加し、来年度入学に向けた取組を促進した。					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 私立高等学校教育施設整備事業補助金

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総務部	課名	大学・私学振興課	課長名	前川 嘉宏	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [ 元気な社会 ]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	S33 年度 経過年数 59 年	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等		政策	[ 福井から人材育成 ]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
[事業目的]												
校舎や体育館の耐震化や、老朽化した施設の改築に対し補助し、私立高等学校の教育環境を改善する。												
[事業内容]												
私立高校の教育施設の整備、充実を図るための経費を補助する。 ・補助事業者 福井県内の私立学校設置者 ・補助率 県1/5または1/6（国庫補助が別途ある場合）												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		219,208	6,240	0	54,815	124,857	37,664		補助対象校数および補助対象事業費の増加			
2月現計予算額の推移		219,208	6,240	0	50,551							
決算額の推移		219,208	6,240	0								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	私立高校の耐震化率	(目標)			(87.0%)				福井県建築物耐震改修促進計画で定める民間建築物耐震化率※ (私立高校耐震化済棟数/私立高校全棟数) × 100 ※27年度末までに87.0%を目標に設定			
		実績	76.3%	79.7%	81.4%	83.1%						
活動指標	補助対象学校数	(目標)	(2)	(1)	(0)	(1)	(2)	(1)	耐震化が必要な建物を有する私立高校数			
		実績	2	1	0	1						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	私立高等学校の設置者					
予算額	124,857				124,857	事業実施方法	補助					
						補助率	1/5または1/6					

# 事業評価

事業名	私立高等学校教育施設整備事業補助金	部局名	総務部	課名	大学・私学振興課	課長名	前川 嘉宏	
[事業の必要性・要求の背景]								
私立高校の耐震化を促進し、生徒が安心して学べる環境を整備することは重要である。								
[受益者] 私立高等学校に通学する生徒・教職員				[想定される受益者数]				
他県の状況	<私立高等学校教育施設整備に係る補助制度の概要> 【福井県】補助率1/5・事業上限なし 補助率1/6・既存建築面積を上限（国庫補助対象の場合） 【石川県】補助制度なし 【富山県】補助制度なし  出所：福井県調べ			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有      事業名    私立学校耐震化促進事業補助金 (役割分担)  当該事業は高等学校の新築・改築に対する補助を行う一方で、私立学校耐震化促進事業補助金は、耐震診断、耐震補強等既存施設の耐震化に対する補助を行う。			市町との連携状況	—			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
・私立高等学校1校の体育館改築を支援し、平成27年度末の私立高校の耐震化率が83.1%となった。					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 公立大学法人福井県立大学運営費交付金

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総務部	課名	大学・私学振興課	課長名	前川 嘉宏		
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [ 元気な社会 ]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H19 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度	H30 年度	
関連する県の計画等		政策 [ 福井から人材育成 ]			<input checked="" type="checkbox"/> 県単		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> その他					<input type="checkbox"/> その他
					<input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> その他						
[事業目的]													
平成19年4月に公立大学法人化した福井県立大学に対し、自主・効率的な大学運営を進めるため、運営費交付金を交付する。													
[事業内容]													
<p>県立大学の業務の財源に充てるため必要な額を運営費交付金として交付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標準運営費交付金 教員研究費、人件費等標準的な法人運営における経費</li> <li>・特定運営費交付金 グローバル化に対応できる人材育成、県内企業のアジアビジネス支援、研究成果の地域への還元など、中期目標・計画を推進する経費</li> </ul>													
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由				
当初予算額の推移		2,430,256	2,496,604	2,487,161	2,555,567	2,515,154	2,449,868	2,481,944					
2月現計予算額の推移		2,441,839	2,457,464	2,532,877	2,531,456								
決算額の推移		2,441,839	2,457,464	2,532,877									
[成果指標等の推移]													
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	学生数	(目標)	(1,664)	(1,664)	(1,664)	(1,664)	(1,664)	(1,664)	(1,664)	大学収容定員(大学院含む)			
		実績	1,755	1,731	1,754	1,764							
活動指標		(目標)								県立大学は中期目標・計画に基づき運用されるため、個別の活動指標については設けない。			
		実績											
[財源内訳・事業主体等]													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		公立大学法人福井県立大学					
予算額	2,515,154				2,515,154	事業実施方法		補助					
						補助率		定額					

# 事業評価

事業名	公立大学法人福井県立大学運営費交付金	部局名	総務部	課名	大学・私学振興課	課長名	前川 嘉宏
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>福井県立大学は平成19年度から公立大学法人化し、魅力ある大学、個性ある大学、開かれた大学の基本理念の下、中期目標・中期計画に基づき大学改革を推進しているところである。当該事業は地方独立行政法人法第42条に基づき支出するものであり、上記理念および中期目標・中期計画達成のために必要不可欠である。</p>							
<p>[受益者]</p> <p>公立大学法人福井県立大学の学生・教職員・一般県民</p>				<p>[想定される受益者数]</p> <p>約2,000人</p>			
他県の状況	<p>公立大学法人を所管する県では、地方独立行政法人法に基づき、大学に対し運営費交付金を交付している。</p>			前事業の有無・実績	<p><input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)</p>		
関連事業の有無・役割分担	<p><input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有      事業名    公立大学法人福井県立大学施設整備費等補助金 (役割分担)</p> <p>当該事業は、県立大学の一般的な運営に係る経費を交付する一方で、施設整備費等補助金は、主に施設の大規模修繕工事に対する補助を行うものである。</p>			市町との連携状況	—		
<p>[事業の評価]</p>							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<p>&lt;26年度実績評価&gt; ・第2期中期計画51計画のうち、26年度に重点的に取り組んだ16計画を中心に、「概ね計画どおり進められた」と評価委員会が判断 ・重点項目16計画の評価は、S評価が2計画、A評価が14計画であった。</p>				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 公立大学法人福井県立大学施設整備費等補助金

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総務部	課名	大学・私学振興課	課長名	前川 嘉宏	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [ 元気な社会 ]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H19 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 [ 福井から人材育成 ]									
[事業目的]												
福井県立大学に対し、施設整備、大規模修繕、災害復旧等に必要な経費を交付し、教育研究環境の維持向上を図る。												
[事業内容]												
福井県立大学の施設・設備等の整備（施設の修繕工事、災害復旧を含む。）に対し補助する。												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		14,623	44,673	45,521	89,348	46,736	71,266	66,998	第2期中期計画期間（H25～H30）の施設修繕計画に基づき対応			
2月現計予算額の推移		13,262	41,799	11,973	83,098							
決算額の推移		13,262	41,799	11,610								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								施設修繕等の結果に伴う成果を推し量ることは困難であるため、成果指標は設定しない。			
活動指標	整備修繕等施設数	(1) 1	(2) 2	(2) 2	(4) 4	(4)	(5)	(4)				第2期中期計画期間（H25～H30）の施設修繕計画に基づき対応
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	公立大学法人福井県立大学					
予算額	46,736				46,736	事業実施方法	補助					
						補助率	10/10					

## 事業評価

事業名	公立大学法人福井県立大学施設整備費等補助金	部局名	総務部	課名	大学・私学振興課	課長名	前川 嘉宏
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>平成4年の開学から20年以上経過し、施設・設備の老朽化が顕在化している。地域に根差した公立大学として、通学する学生、教職員はもとより、地域住民にも広く開放されている施設であるので、施設の長寿命化を見据えた改修計画により、施設の維持・向上を図っていく必要がある。</p>							
[受益者] 公立大学法人福井県立大学の学生・教職員・一般県民				[想定される受益者数] 約2,000人			
他県の状況	施設整備費補助金の措置状況 【福井県】措置あり 【石川県】措置あり 【富山県】措置あり  出所：福井県調べ			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)		
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有      事業名    公立大学法人福井県立大学運営費交付金 (役割分担)  当該事業は、施設の大規模修繕工事に対する補助を行う一方で、運営費交付金は県立大学の一般的な運営に係る経費を交付するものである。			市町との連携状況	—		
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<福井キャンパス> ・経済学部棟外壁修繕の実施 ・管理棟、図書館棟監視盤の更新 <小浜キャンパス> ・自動火災報知設備の更新 ・非常用発電機OHの実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 県内大学等連携研究推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	総務部	課名	大学・私学振興課	課長名	前川 嘉宏	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [ ]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度	H19 年度	事業終了予定年度	— 年度
関連する県の計画等		政策 [ ]			<input type="checkbox"/> 県単		■ 補助金	経過年数				
						<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他			10 年		
[事業目的]												
県内大学や研究機関が連携して取組む地域貢献に関する研究の経費について助成することにより、連携する県内大学等のレベルアップと地域貢献をより一層推進する。												
[事業内容]												
<b>連携研究推進補助金の交付</b> 補助対象者 県内大学等に所属する研究者（少なくとも県内2以上の大学等に所属する研究者が連携していること） 補助内容 県から提示した行政課題をテーマとする研究に対し補助 研究期間 最長2年 交付額（上限額） 300万円／年 行政課題テーマ案 原子力技術分野（原子力安全や廃炉に関わる技術・開発に係る研究等） ふくいブランド創出分野（本県のブランドを高める産業・人材育成に係る研究等） まちづくり分野（街なか賑わい創出や国体開催機運の盛り上げを促す戦略的広報に係る研究等） バイオ・六次産業化分野（産業ビジネス化や人材育成に係る研究等） 国際・地域分野（海外販路開拓、グローバル人材育成に係る研究等） 看護福祉分野（高齢化社会、原子力発電所立地地域における医療人材育成に係る研究）												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">（単位：千円）</span>												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		22,591	22,408	19,408	17,277	17,267	17,267	17,267	一般研究に対する助成を廃止し、行政課題解決型研究にのみ助成			
2月現計予算額の推移		20,614	19,509	19,408	17,277							
決算額の推移		18,017	17,734	16,238								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								採択研究による成果を単年度で評価することは困難である。			
活動指標	採択研究数	(目標) 実績	9	5	4	3						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県・県内大学等に所属する研究者					
予算額	17,267				17,267	事業実施方法	直営・補助					
						補助率	定額					

# 事業評価

事業名	県内大学等連携研究推進事業	部局名	総務部	課名	大学・私学振興課	課長名	前川 嘉宏	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>人口減少が進む中、若者の地元定着などに、地方における高等教育機関（大学、短大、高専）の役割がますます重要となっている。国においては、文部科学省が平成27年度にCOCプラス事業を創設し、平成31年度までの5年間、域内の地方大学が連携して地域創生を推進するための補助制度を設け、本県においては福井大学が事業採択された。</p> <p>同事業において、地方大学の連携による産業振興が重要なテーマの一つに位置づけられていることから、県内各大学の強みを活かした特色ある研究に対し支援することにより、本県の産業振興および産業人材育成に資する。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県内大学等に所属する研究者				—				
他県の状況	—			前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有      事業名      大学連携リーグ事業 (実績)  大学連携リーグ事業の中で実施していた連携研究への支援を組み替え、当該事業で継続して実施する。			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有      事業名      COCプラス事業（文部科学省） （役割分担）  域内の地方大学が連携して取り組む地域創生に資する事業に対し、5年間支援を行う。			市町との連携状況	—			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
・福井県における人口減少の要因分析と具体・実践的施策の提言 ・魚類の2次リンパ器官の形成機構の解明 ・地域力を育む「まち+ひと+しごと」プログラムの作成 の新規3研究を採択し、補助					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

# 大学連携センター開設準備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総務部	課名	大学・私学振興課	課長名	前川 嘉宏
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 人口減少に歯止めをかける徹底戦略 ]			事業区分	■ 国庫 □ 県単 □ その他	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度 H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 H28 年度	H28 年度
関連する県の計画等			[ ふくい創生・人口減少対策戦略 ]								

**[事業目的]**

大学連携センターの開所記念事業を開催するとともに、それに合わせて県内大学・短大・高専の学生が研究会等のPBL（課題解決型授業）や学外活動の成果の発信、学生同士が交流する機会を設けることにより、大学連携センター開所を県内学生にPRする。

**[事業内容]**

県内大学、短大、高専と県で組織する大学連携事業推進委員会が行う下記事業に対して補助を行う。

- 1 大学連携センターオープンフェスティバルの開催（3,900千円）
  - 日程：平成28年4月9日（土）
  - 参加者：県内大学等の学生、知事、各学長、教職員ほか
  - 概要：
    - ①テープカット、大学公開ゼミ、公開模擬授業など（アオッサ7階：大学連携センター）
    - ②著名人による特別授業（アオッサ8階：県民ホール）
    - ③大学PRブースの出展（アオッサ1階：アトリウム）
    - ④学生が主体となり行う各種催し（ガレリア元町商店街）
- 2 県内学生による研究、サークル、地域活動等における成果の発表（1,523千円）
  - 日程：平成28年5月頃（約2週間）
  - 場所：アオッサ1階 アトリウム
  - 内容：
    - ①県内大学生が授業において創作した作品や、ゼミ活動の研究成果の展示等
    - ②県内大学のサークル・部活動等のステージイベント等

（単位：千円）

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由
当初予算額の推移					5,423			・PR動画の作成は、H27事業終了 ・オープニングフェスティバルは、H27準備に対してH28は実施 ・学生活動発表会は、H28拡充
2月現計予算額の推移				6,100				
決算額の推移								

**[成果指標等の推移]**

区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠
成果指標 オープンフェスティバル参加者				(－)	(300)			・特別授業、学生イベントへの参加者の合計数
成果指標 研究・サークル・地域活動等における成果発表への参加者				(－)	(120)			・想定 写真部15、演劇部15、フォークソング15、研究室30、授業成果15、アカペラサークル30
活動指標								大学連携センター開設に向けた準備行為において、数値目標を設定することは困難である。

**[財源内訳・事業主体等]**

区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	大学連携事業推進委員会
予算額	5,423				5,423	事業実施方法	補助
						補助率	100%

# 事業評価

事業名	大学連携センター開設準備事業	部局名	総務部	課名	大学・私学振興課	課長名	前川 嘉宏	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>人口減少が進む中、若者の地元定着などに、地方における高等教育機関（大学、短大、高専）の役割がますます重要となっている。国においては、文部科学省が平成27年度にCOCプラス事業（平成31年度までの5年間、域内の地方大学が連携して地域創生を推進するための補助制度）を創設し、本県においては福井大学が事業採択された。</p> <p>県としては、アオッサ7階に大学連携センターを整備し、県内全ての学生が共通に受講することができる教養講座を開講し、県内就職者数の拡大につなげることをしているが、平成28年4月9日のセンター開所に当たり、学生に対して強くPRし、利用促進を図ることが必要である。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県内大学・短大・高専の学生				約1万人				
他県の状況	—			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有      事業名      COCプラス事業（文部科学省） （役割分担） ・域内の地方大学が連携して取組む地域創生に資する事業に対し、5年間支援を行う。 ・大学連携センターで開講する講座は、大学が行う。			市町との連携状況	—			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
大学連携事業推進委員会を設立し、委員会においてPR動画の製作、オープニングイベントの運営者選定のプロポーザルを行った。					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 大学連携センター運営事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総務部	課名	大学・私学振興課	課長名	前川 嘉宏	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [ 元気な社会 ]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度	H28 年度	事業終了予定年度	H31 年度
関連する県の計画等			政策 [ 人口減少に歯止めをかける徹底戦略 ]				<input type="checkbox"/> 県単	□ 補助金		経過年数		
<p>[事業目的]</p> <p>県内大学が教養科目の共通開講や学生の県内就職支援等を連携して行うため、県都中心部（アオッサ）において、学生が集い・学ぶための拠点“大学連携センター”を整備し、その運営を支援する。</p>												
<p>[事業内容]</p> <p>(1) 大学連携センター運営費 [予算額7, 171千円]            開館時間 9:00～20:00 ※月曜日、年末年始は休館            事務局 常勤職員1人(県)、アルバイト2人            ※この他、COC+事業を行うため、福井大学から事務職員1人、COC+コーディネーター2人を配置予定            主な業務 ①地域志向科目の共通開講(大学が実施、COC+事業) ②県内学生確保の促進 ③県内就職の促進            ④学生の地域活動、大学間交流の推進 ⑤施設管理(講義室、共同スペースの管理)</p> <p>(2) 特別講座(県寄附講座)開講事業 [予算額6, 274千円]            ①ビジネス現場で役立つアジア系言語や特色ある英語科目の開講支援            開講科目 タイ語(H28)、英語            開講科目数 6科目(前期3科目、後期3科目)            ②大学連携センターで開講する地域志向科目において、特別講師の派遣を支援</p>												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位: 千円)</span>												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						13,445						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	特別講座受講者数 (目標)					(800)	(800)	(800)	特別講座受講定員			
	実績											
活動指標	特別講座開講数 (目標)					(6)	(6)	(6)	前期3科目・後期3科目			
	実績											
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	13,445	13,257		(諸収入) 188		事業実施方法	直営					
						補助率						

## 事業評価

事業名	大学連携センター運営事業	部局名	総務部	課名	大学・私学振興課	課長名	前川 嘉宏	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>人口減少が進む中、若者の地元定着などに、地方における高等教育機関（大学、短大、高専）の役割がますます重要となっている。国においては、文部科学省が平成27年度にCOCプラス事業（平成31年度までの5年間、域内の地方大学が連携して地域創生を推進するための補助制度）を創設し、本県においては福井大学が事業採択された。</p> <p>同事業により、県内全ての学生が共通に受講することができる教養講座を開講し、県内就職者数の拡大などにつなげることから、県において講座開講の場所として「大学連携センター」を整備し、その運営を支援することが必要である。</p> <p>また、大学連携センターで開講する講座内容を充実させ、魅力あるカリキュラムとするため、各分野の著名講師を招聘した特別講座や県内大学では受講できないアジア圏の文化・言語を理解する講座等を県寄付講座で開講することで、講座を受講する学生数を拡大させ、大学連携センターの利用率を高める。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県内大学生				約1万人				
他県の状況	<p>【石川県】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学コンソーシアム事務局を、金沢市中心部に提供</li> <li>・大学コンソーシアム石川への支援を実施</li> </ul> <p>【富山県】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学コンソーシアム事務局を、富山市中心部に提供</li> <li>・大学コンソーシアム富山への支援を実施</li> </ul> <p>出所：福井県調べ</p>	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有	事業名	大学連携リーグ事業 (実績)			
				平成19年度から大学連携リーグ事業を開始し、連携企画講座の開催、連携研究の実施などを実施				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有	事業名	COCプラス事業（文部科学省） (役割分担)		市町との連携状況	-		
				・域内の地方大学が連携して取り組む地域創生に資する事業に対し、5年間支援を行う。 ・大学連携センターで開講する講座は、大学が行う。				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 大学連携センター学生通学応援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総務部	課名	大学・私学振興課	課長名	前川 嘉宏
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 人口減少に歯止めをかける徹底戦略 ]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 ■ 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H28 年度 経過年数 1 年	事業終了予定年度	H31 年度
関連する県の計画等			[ ふくい創生・人口減少対策戦略 ]								
[事業目的]											
<p>大学連携センターで地域志向科目を受講する県内大学生に対し、公共交通機関の利用を呼びかけるが、公共交通機関だけでは講義に間に合わない場合や、移動に伴う負担が大幅に増える場合に、特別な措置を講じることにより、安心して学ぶことができる環境を整備し、もって本県地域創生の担い手となる人材育成を推進する。</p>											
[事業内容]											
<p>大学連携センターを受講する学生に対し、以下の交通費支援を行う。</p> <p>(1) 各大学と大学連携センター（アオッサ）を結ぶ直行シャトルバスの運行【平日】          運行経路 ①仁愛大学～アオッサ ②福井工業大学～福井大学文京キャンパス～アオッサ          運行日数 平日2日間（水曜日・金曜日） × 2経路</p> <p>(2) 公共交通機関を利用して大学連携センター講座を受講する学生に対する交通費助成【平日・土曜】          平日（対象）敦賀市立看護大学の学生（助成内容）敦賀市立看護大学から大学連携センター（アオッサ）までの往復の交通費          土曜（対象）県内5大学の学生（助成内容）県内大学生の自宅から大学連携センター（アオッサ）までの往復の交通費</p> <p>(3) 自家用車を利用して大学連携センター講座を受講する学生に対する交通費助成【平日】          助成対象 上記（1）および（2）以外の大学生          助成内容 福井駅西口駐車券の交付（大学連携センター講座の受講時間相当）</p>											
[予算額の推移等] <span style="float: right;">（単位：千円）</span>											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移						14,526					
2月現計予算額の推移											
決算額の推移											
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	履修学生に占めるバス利用者率（%） （目標） 実績					(50%)	(50%)	(50%)	バス利用者／履修学生数		
活動指標	バス運行大学数 （目標） 実績					(3)	(3)	(3)	福井大学・福井工業大学・仁愛大学		
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県・県内大学			
予算額	14,526	7,776			6,750	事業実施方法		直営・補助			
						補助率		定額			

## 事業評価

事業名	大学連携センター学生通学応援事業	部局名	総務部	課名	大学・私学振興課	課長名	前川 嘉宏
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>人口減少が進む中、若者の地元定着などに、地方における高等教育機関（大学、短大、高専）の役割がますます重要となっている。国においては、文部科学省が平成27年度にCOCプラス事業（平成31年度までの5年間、域内の地方大学が連携して地域創生を推進するための補助制度）を創設し、本県においては福井大学が事業採択された。</p> <p>同事業で、大学連携センターにおいて、県内全ての学生が共通に受講することができる教養講座を開講し、県内就職者数の拡大などにつなげることから、受講する学生の利便性を高め、より多くの大学生が受講できるよう、学生に新たな負担が生じる交通費を支援することが必要である。</p>							
<p>[受益者]</p> <p>県内大学生</p>				<p>[想定される受益者数]</p> <p>約400人（受講定員800人×バス利用者率50%）</p>			
他県の状況	<p>【石川県】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学コンソーシアム石川で開催される講座受講者等に駐車券を配布</li> </ul> <p>【山形県】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位互換制度受講者について、市外への通学に対する補助を実施</li> </ul> <p>出所：福井県調べ</p>			前事業の有無・実績	<p><input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p><input type="checkbox"/> 有      事業名</p> <p>(実績)</p>		
関連事業の有無・役割分担	<p><input type="checkbox"/> 無</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 有      事業名    COCプラス事業（文部科学省）</p> <p>(役割分担)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・域内の地方大学が連携して取組む地域創生に資する事業に対し、5年間支援を行う。</li> <li>・大学連携センターで開講する講座は、大学が行う。</li> </ul>			市町との連携状況	-		
<p>[事業の評価]</p>							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 県内大学生等の定着促進事業補助金

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	総務部	課名	大学・私学振興課	課長名	前川 嘉宏
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠 ビジョン	[ 元気な社会 ]			事業 区 分	■ 国庫	□ 実行予算	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 H31 年度
関連する県の計画等		政策	[ 人口減少に歯止めをかける徹底戦略 ]				□ 県単	■ 補助金			
[ 事業目的 ]											
<p>県内大学等が行う、多様な学生の確保、地域志向型の人材育成、県内就職の促進等の活動を、その成果である入学者数や県内定着者数の拡大実績に応じ支援を強めることにより、本県若年層の社会減の抑制を図る。</p>											
[ 事業内容 ]											
<p>&lt; 補助対象者 &gt;                  県内の5大学・2短大・1高専</p> <p>&lt; 対象事業 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様な学生確保（嶺南でのオープンキャンパスの実施、県外短大からの編入学支援、外国人留学生の誘致促進など）</li> <li>・ 地域志向型の人材育成（郷土の偉人の功績を実践的に学ぶ授業の開講、地域での体験学習の拡充や交流促進など）</li> <li>・ 学生の県内就職支援（大学独自の実践型インターン・シップの実施、県内実習施設と教職員との共同研修会開催など）</li> </ul> <p>&lt; 補助金の算定 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1事業あたりの補助基準額は300万円（平成27年度は200万円）とする。</li> <li>・ さらに、事業実施により各大学等が入学者数や県内定着者数を増加させた場合は、入学者数増加実績については事業実施翌年度に、県内定着者数増加実績については事業実施翌々年度補助基準額に、それぞれ各年度の拡大実績に応じた特別加算を行う。</li> </ul>											
[ 予算額の推移等 ] <span style="float: right;">（単位：千円）</span>											
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移					33,000	77,000	99,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助基準額の増加（200万円→300万円）</li> <li>・ 入学者数の増加に応じた加算額を予算計上</li> </ul>			
2月現計予算額の推移				15,000							
決算額の推移											
[ 成果指標等の推移 ]											
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	入学者数（増加分）	(目標)		(-)	(79)	(160)	(241)	3か年（H25～27年度）の平均以上に増加した入学者数			
		実績									
成果指標	県内定着者数（増加分）	(目標)		(-)	(85)	(141)	(197)				
		実績									
活動指標	補助実施大学等数	(目標)		(8)	(8)	(8)	(8)	県内の5大学・2短大・1高専			
		実績		8							
[ 財源内訳・事業主体等 ]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県内の5大学・2短大・1高専			
予算額	33,000	33,000				事業実施方法		補助			
						補助率		定額			

## 事業評価

事業名	県内大学生等の定着促進事業補助金	部局名	総務部	課名	大学・私学振興課	課長名	前川 嘉宏
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>地方創生が叫ばれる中、地方における大学等の役割がますます重要となっている。そのような中、文部科学省はCOCプラス事業により、平成31年度までの5年間、域内の地方大学が連携して地域創生を推進するための補助制度を設けた。このような連携した取組に加え、各大学等が個別に行う学生確保や県内定着促進についても県独自に支援を行い、大学による地方創生の活動を積極的に支援することが重要である。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県内の5大学・2短大・1高専				約1万人			
他県の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・香川県で同様の補助制度を実施</li> <li>・秋田県、新潟県等は対象を私学に絞って補助を実施</li> </ul> 出所：福井県調べ			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)		
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有      事業名    COCプラス事業（文部科学省） （役割分担）  域内の地方大学が連携して取組む地域創生に資する事業に対し、5年間支援を行う。			市町との連携状況	-		
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
全ての高等教育機関で定着促進の取組に着手				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 大学生のための「婚学」講座開講事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	総務部	課名	大学・私学振興課	課長名	前川 嘉宏																																												
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [ 元気な社会 ]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度	H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	H31 年度																																											
関連する県の計画等			政策 [ 人口減少に歯止めをかける徹底戦略 ]				<input type="checkbox"/> 県単	□ 補助金					<input type="checkbox"/> その他																																										
<p>[事業目的]</p> <p>学生のうちから「婚学」を学び、将来の結婚観等を養うとともに、スポーツ交流会を開催することにより、他大学との学生交流を促進し、県内での早期結婚・早期出産の意識啓発および本県への定着のきっかけを与える。</p>																																																							
<p>[事業内容]</p> <p>(1) 県内大学において「婚学」を社会学やキャリアデザイン等の講義の一部として開講 将来の結婚観等を養い、福井県内での早期結婚・早期出産の意識啓発および福井県内定着を促進</p> <p>(2) スポーツ交流等開催事業 誰もが手軽に取り組めるスポーツを通して、県内大学生間の交流促進を図る。 スポーツ交流会終了後、参加者全員で交流会を開催</p>																																																							
<p>[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">24年度</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 45%;">主な増減理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初予算額の推移</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">1,373</td> <td style="text-align: center;">1,118</td> <td style="text-align: center;">1,118</td> <td style="text-align: center;">1,118</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2月現計予算額の推移</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">1,373</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額の推移</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>													区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由	当初予算額の推移				1,373	1,118	1,118	1,118		2月現計予算額の推移				1,373					決算額の推移															
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由																																															
当初予算額の推移				1,373	1,118	1,118	1,118																																																
2月現計予算額の推移				1,373																																																			
決算額の推移																																																							
<p>[成果指標等の推移]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">24年度</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 45%;">目標・指標の考え方・積算根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成果指標</td> <td>婚学講座・スポーツ交流会参加者数</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">(260)</td> <td style="text-align: center;">(260)</td> <td style="text-align: center;">(260)</td> <td style="text-align: center;">(260)</td> <td rowspan="2">婚学講座受講者数160人、スポーツ交流会参加者数100人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">371</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td>婚学講座・スポーツ交流会開催数</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">(5)</td> <td style="text-align: center;">(5)</td> <td style="text-align: center;">(5)</td> <td style="text-align: center;">(5)</td> <td rowspan="2">婚学講座4回、スポーツ交流会1回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">7</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>													区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠	成果指標	婚学講座・スポーツ交流会参加者数			(260)	(260)	(260)	(260)	婚学講座受講者数160人、スポーツ交流会参加者数100人		実績			371				活動指標	婚学講座・スポーツ交流会開催数			(5)	(5)	(5)	(5)	婚学講座4回、スポーツ交流会1回		実績			7			
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠																																															
成果指標	婚学講座・スポーツ交流会参加者数			(260)	(260)	(260)	(260)	婚学講座受講者数160人、スポーツ交流会参加者数100人																																															
	実績			371																																																			
活動指標	婚学講座・スポーツ交流会開催数			(5)	(5)	(5)	(5)	婚学講座4回、スポーツ交流会1回																																															
	実績			7																																																			
<p>[財源内訳・事業主体等]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">区分</th> <th style="width: 10%;">事業費</th> <th style="width: 10%;">国庫</th> <th style="width: 10%;">起債</th> <th style="width: 10%;">その他</th> <th style="width: 10%;">一般財源</th> <th style="width: 10%;">事業主体</th> <th style="width: 10%;">県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td style="text-align: center;">1,118</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">1,118</td> <td>事業実施方法</td> <td>直営</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>補助率</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>													区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県	予算額	1,118				1,118	事業実施方法	直営							補助率																				
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県																																																
予算額	1,118				1,118	事業実施方法	直営																																																
						補助率																																																	

## 事業評価

事業名	大学生のための「婚学」講座開講事業	部局名	総務部	課名	大学・私学振興課	課長名	前川 嘉宏	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>晩婚化・晩産化が進み、人口の自然減が進んでいる。このような中、早期結婚・早期出産が人口の自然減を抑制する上でも有効であることから、学生のうちから早期の結婚観を養うことが重要である。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県内大学生				260人				
他県の状況	—			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (役割分担)			市町との連携状況	—			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
・婚学講座6回開催 ・スポーツ交流会1回開催					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	